

旅行業務スタッフ募集



平和・環境・福祉などの視察と交流の旅、自然・芸術・歴史にふれる感動の旅など、ほんものの旅づくりにチャレンジしてみませんか？

パート・アルバイト募集

旅行業務（電話対応・事務・pc入力など）
 ◎未経験者可 ◎勤務時間：11:00～18:00で要相談
 ◎時給：1,200円～ ◎交通費支給（規程による）
 ◆まずはメール・お電話でお問い合わせ下さい。
 e-mail：henshu@fits-tyo.com TEL：045-212-2101



「富士国際」を登録商標しました！

「シャッターチャンス」のコーナーで、毎週弊社の旅が紹介されています！

ラジオ番組

peacelly music

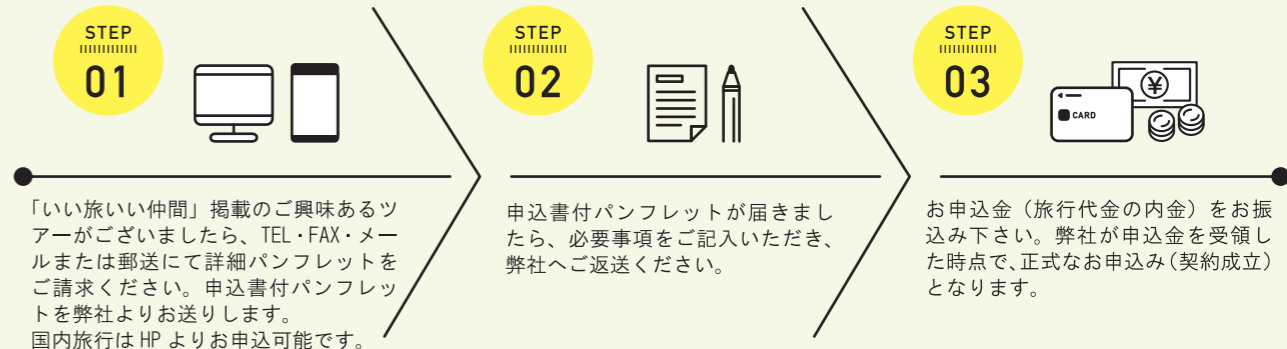
ピースリー・ミュージック

まつのじん(ヴァイオリニスト)と植草ひろみ(チェリスト)がおくるトークと音楽の1時間

毎週木曜日
 ◆13:00～◆再放送 21:00～
 インターネットで同時にきけます

検索は「ラジオ成田」
 スマートフォン、パソコン、iPad などからアクセスできます。

お申し込み方法



いい旅いい仲間 第76号

観光庁長官登録旅行業第84号 JATA 正会員

■発行：株式会社富士国際旅行社®

『富士国際』は弊社の登録商標です

TEL 045-212-2101 / FAX 045-212-2201

メール：henshu@fits-tyo.com

<営業日>月曜～金曜（10:00～18:00）土日祝休み

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7

ヒューリックみなとみらい 11F-4

http://www.fits-tyo.com/



facebook、X(旧twitter)で旅情報を発信中！

いい旅いい仲間 vol.76

株式会社
富士国際旅行社 since 1964
 FUJI INTERNATIONAL TRAVEL SERVICE

いい旅いい仲間

vol.76

2024年9月1日 発行

■発行：株式会社 富士国際旅行社
 〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7

ヒューリックみなとみらい 11F-4

TEL 045-212-2101

CONTENTS

2024 / 09
VOL. 76

- 2 海外旅行自由化60年
～「現場」に行かないと分からない～
- 3 目次
- 4 いい旅いい仲間第10号「創業と中国」
- 5 中国現地旅行社からのメッセージ
- 6 市民の交流で平和を巡る対話を
- 7 2024年末 沖縄ツアー特集
- 8-9 ベトナムの若者は未来の列車に希望を託す
- 10 伝承文化“アーユルヴェーダ”が息づくスリランカへ
- 11 日本AALA企画 ASEANを学ぶ旅
- 12 脱植民地化への連帯を育む旅へ
——フィリピン、サイパン・テニアン、グアム
- 13 軍事都市サンディエゴで広がる草の根運動
- 14 2025年 伊藤千尋さんと行く旅シリーズ
- 15 学習会・パンフレットのご案内
- 16 旅ステーション企画 ヨーロッパ鉄道の旅シリーズ
- 17 子どもの権利条約とコルチャック先生
- 18-19 国内ツアー特集
- 20 「慰霊の日」ツアーを終えて
- 21 歴教協アジアの旅、中村梧郎さんと行くベトナム
- 22-23 2024～2025 国内外ツアー

おかげさまで2024年10月14日、創立60年を迎えます。
支えてくださる皆様へ感謝申し上げます。今後ともご支援、
ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

社員一同

海外旅行自由化60年 ～「現場」に行かないと分からない～

海外旅行が自由化されたのは60年前、初めての東京オリンピックが開かれた1964年のことです。その年の10月14日、弊社は創業しました。海外旅行自由化の60年は弊社の60年の歴史と重なります。

渡航先として制約のある国・地域もありましたが、観光目的でも行けるようになりました。創立以来航空券の手配などに留まらず市民の国際交流、海外調査などのルートづくりから訪問先や専門通訳の手配まで、「ああ私たちは民間外交のお役に立っているんだな」ということが実感でき、やりがいのある仕事をさせていただいております。

60年前と比べると、情報や通信など飛躍的に発達を遂げてきました。しかしどんなに情報通信手段が普及しても、「現場」に行かないと分からないことがあります。コロナ禍後、数カ国をお訪ねする機会がありましたが、SNSや報道の情報とは違うと感ずることが多々ありました。「現場」を見て今後も民間外交を支える存在であるよう研鑽を積んで参ります。

今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

経営理念

富士国際旅行社は、旅行業務をつうじ、平和な世界、
民主的な社会の実現に貢献し
健康で文化的な旅行・レジャーの発展をめざします

Peace Green Humanity

戦争のない、地球環境や弱者の生命や権利が守られる世界をめざします
平和、環境保護、人権福祉の事業や運動を応援します
戦争、環境、福祉、教育をテーマとする視察や見学を提案します

旅は

うるおいのある暮らしと、活力のある仕事と暖かい家庭を生み出し
人と人の新しいネットワークをつくります
旅は、平和で、豊かで、文化的な社会を育みます。
富士国際旅行社は、そんな旅づくりのお手伝いをします

創業35周年特集

創業と中国旅行



山口一正さん

富士国際旅行社創業の半年後から、20年余り営業部の最前線で活躍し、1983年まで常務取締役。現在は非常勤取締役。

創業時期に在職していた者は、今は一人も居りません。そのころのハイオプ精神や、当社として三年ぶりに本格的に再開された中国旅行について当時のお話を伺い、「中国旅行の老舗」として先輩の経験を継承したいと考えています。

さて一九六四年一〇月創業というのですが、

初代の社長は、柳沢泰雄さんです。「平和のために、世界を見よう、世界を知ろう」とりわけお隣の中国へが創業の目的でした。社名に「中国」という文字を入れたかったのは、もっと広く世界をという柳沢さんの壮大な展望があったのでした。

中国を代表するのが万里の長城、日本は富士山（笑）

中国旅行のスタートは？

私が創業の翌年の二月に入った時には、柳沢さんが社長で、実務的なことは松村さん（二代目社長）が担っていました。中国国際旅行社の日本総代理店（社）のうちの二社としてスタートしました。

五月に最初のツアーが出発し、八月には羽田・香港間の日本航空をチャーターした学生訪中団の準備が進んでいました。関東の学生たちが取組んでいました。東大ではキャンパスに立て看板を出し、ガリ版刷りのチラシを配り、まるで集会にもも動員するようやり方で参加者を募っていました（笑）

しかし、あつという間に二五名の定員に達してしました。今から考えると無謀ですが、私がひとり添乗しました。北京に着いた時は、先頭から最後尾まで、ハンドマイクを持って掛け回って案内をしました。団員の多くが腹をこわしたり、熱を出したりその看病やらで、一日六時間（日平均）三時間くらいしか睡眠をとれませんでした。以後、添乗員は三人以上になりました（笑）

初期の訪問団は、人民大会堂で大歓迎されたのですが？

当時は蜜月時代で、毛沢東や周恩来、劉少奇なども出てきて私たちが握手したくらいです。中には帰るまで手を洗わないという学生もいました（笑）

その後、六七年の春までに青年学生団体、音楽団体、教育関係、生協、経済団体や当社の公費企画など約七〇名の方々を中国旅行に案内しました。また総代理店として、大手旅行社の企画も数多く送り出しました。

五月以降出発したグループには、毛沢東演説が配られている中には講義させられた人もいます。そして、二回目の学生訪中団が七月に出発しました。中国側の意見を受入れないということ添乗員のS君がホテルの一室

六六年五月「プロレタリア文化大革命」がはじまりました。五月以降出発したグループには、毛沢東演説が配られている中には講義させられた人もいます。そして、二回目の学生訪中団が七月に出発しました。中国側の意見を受入れないということ添乗員のS君がホテルの一室

に歓迎されました。彼が体格ががっちりしていたので、実力で脱出したそうです（笑）

帰国後、その報告を受け、八月の第三回目の学生訪中団には、私も行かなくてはだめだといふことになりました。

北京では、ちやうど紅衛兵運動が始まったころでした。王府井（北京の銀座通り）では、彼らがビルに梯子を掛け、看板をはずし叩き壊していました。当時、日本の学生の間には、リーセントスタイルに、先のとがった靴というのが流行っていました。したが、紅衛兵たちに取囲まれ、「自己批判しろ」とやられ、自分達は外国の観光客だといつても、「自己批判しろ」（笑）

現地の受入も確認済みの工場の見学をはずしたり、勝手に頼みもしないことを付け加えるなどかなりひどい状況でした。

例えば、今日は、中国の青年たちが皆さんを歓迎します」といつてある公園に連れて行かれました。会場には、「毛沢東主席万歳、未永く続く中日青年の友好万歳……」垂れ幕が何本も掲げられていて、中国の青年が一つ置きに席に着いて、日本の青年を前に座らせました。そして中国語で「毛沢東主席万歳……」と中国語で叫び立て、その度に両手を叩きつけて、それをテレビや新聞が取材していました。

翌日の「人民日報」には一面

に「毛沢東主席の長寿を願い、新旧修正主義に反対する中日青年」と写真入ででかかど報道してました。

余りにもひどいやりかたに、皆で抗議したが全く受け付けな

い。一方で人民大会堂に豪華な料理と七色の酒を出してふんだんにもてなすこと。そして、「毛沢東主席万歳」連修正主義と日本の追従主義粉砕一乾杯!!とやるわけです。

私たち添乗員は椅子に座ったまま動かない。学生たちもほとんどが私たちを信頼して同調してくれました。

一週間余り同行した女性ガイドと深圳で別れる時、仲良くなり別れを惜しんでか、それとも皆が自主独立で言うことを聞かなくなり負けた悔しさが、涙を流していたのが象徴的でした。当社はいつか中国から排除されなくなつたのですか？

六七年の夏、四回目の学生訪中団をはじめ多くの旅行団の出発を目前に控えていた時に、一方的に契約を打ち切つてきました。「中止はけしからん、中国の言う通りにすれば良いのだが」と会社に怒鳴り込んできたW大生のグループもありました。創業から一年八月、会社の

規模も徐々に大きくなり三〇人くらいになつていました。予想もしていない突然のことでした。皆で話し合い一〇人で再スタートしました。

国内旅行を始めた時、中国に近いインドの史跡めぐりや内戦前のアンコールワットなどのパオニア的な旅行開発もこの時期に始まりました。

七一年には、パリ・コミュニケーション一〇〇年を記念した企画をつくり、その後のフランス・イタリア革新自治体訪問の基礎を作りました。

最後に二世紀を担う若い社員たちに一言を願います。

旅行の開発はお客様に教わるということ、"こう"という旅行が出来たらいいな、という夢のようなことを大事にして、発想を豊かにプロの知識で肉付けし、実現することです。今テレビでやっている司馬遼太郎の「街道を行く」のように、世界を見て日本が分かる、それと同じように今取組んでいる平和の旅や福祉の旅、環境問題など、未来の日本を展望する企画を創ってください。

ありがとうございます。



学生訪中団のガリ版刷りチラシ 富士旅行会（旅行参加者の同窓会）会報

中国現地旅行社からのメッセージ



現地ガイド ほうじゃくりん 房若林さん



友人の皆さま 4年余り蔓延していたコロナ禍で、旅行活動などはほとんど停滞してしまいました。皆さまのお元気でいらっしやるとのこと、うれしい限りでございます。来年は日中戦争の80周年という大きな節目の年となります。いろいろな記念イベントが行われると予想いたします。中国への旅にご参加をいただき、再会できることを祈念いたしております。最後に皆様の「ご健康」とご家族の清栄をお祈り申しあげます。

黒龍江省新世紀国際旅行社

こかいゆう 呼海友さん



コロナ禍がいつから始まったか忘れるほど、全ての行動規制がなくなる中で、コロナ前とは全く変わりのない穏やかな毎日を過ごしています。コロナ前と変わったのは、例えば、現金をあまり使わず、ほとんど電子決済となっている。市バスは全て電気バスになり、電気自動車が増えている。空気が綺麗になったことです。

過去4年間、仕事は余りなかったですが、時間はいっぱいあって、歴史文化研究会の皆さんと一緒にあつちこつち探訪しました。東清鉄道や満鉄の遺跡——駅舎や付属建築、社宅、クラブ、教会、神社、鉄道警備隊、機関庫、橋梁、トーチカなどを訪ねて、常に強い衝撃を受けています。例えば東清鉄道

清鉄道あるいは満鉄の遺構と考えられる土造りの立派な建物も見つかり、頑丈ではあるが、いつなくなるか分かります。例えば同じ場所に東清鉄道の石アーチブリッジと満鉄の鉄筋コンクリートの橋と現在の高鉄特大桥が並んでいて、違う時空を感じることもできます。それらが都市や村の歴史を語っている、起きた事実を目撃している、芸術や文化を見ているので、ある意味では生きていく存在で、その細部を観察したり中に入ったり、住んでいる人たちと交流をしたりして、平素の生活で味わうことのできない感動を得、生きていてよかった、ここに来てよかったと思うほど旅を繰り返しています。中国東北では一見に値するところは数え切れません。2023年末からは観光業も急速に回復しています。2023年12月18日にハルビン冰雪祭が開幕し、始まって3時間以内に4万人の観光客が訪れました。2024年正月期間中、ハルビン市で300

万人以上の観光客が訪れ、2019年を上回って過去最高を記録しました。外国人観光客の便宜をはかり、2024年始めから到着ビザが発行可能となり、到着ビザ利用で、7月からは日本からのグループもどんどん入って来ています。リピーターのお客様が東北各地でたまに楽しい思い出のある前回のガイドに案内してもらおう。そのような出会いがお互いの喜びとなり旅の面白さの一つになるでしょう。

旅先は？中国東北部こそ、まずお訪ねください。 中国の治安状況は変わっていません。携帯電話の使用契約、ホテルの宿泊、飛行機や鉄道のチケットを購入する際、実名認証して利用します。また、飛行機、高速鉄道、地下鉄などの交通手段に乗る場合、安全検査が必要です。

TOUR 平和ガイド・長谷川順一さん同行 中国 南京・上海近代史と文化探訪 5日間

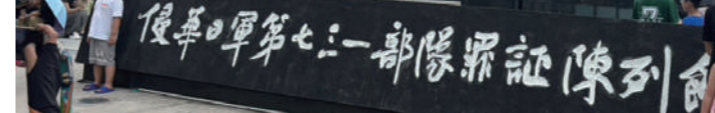
2024年12月25日（水）～12月29日（日） 248,000円 燃油別途 募20名 催15名 添

今年の日清戦争勃発130年です。翌年の下関条約によって台湾・澎湖諸島を中国（清国）から割譲させました。第一次・第二次上海事変から全面的な日中戦争となり中国を侵略してきました。南京市内では侵華日軍南京大屠殺遭遇同胞纪念馆、南京利濟巷慰安所旧跡陳列館など加害の事実と中国四大古都の一つだった歴史を見学します。中国最大の都市上海市では、淞滬抗戦纪念馆、阿片王里見甫のピアスアパート、外灘の歴史建築群、夜景スポットを散策します。「第一次・第二次上海事変」とともに日本軍の謀略が引き金になった大山中尉殺害事件について、歴史学者笠原十九司氏は「それにしても、長江流域の日本人居留民の日本への引き揚げが無事終了した八月九日の夕方、大山事件が発生したのは、さながら拡大派の『謀略のシナリオ』を見るようなタイミングの良さである。」（青木書店刊『日中全面戦争と海軍』64頁）と述べています。虹橋飛行場大山中尉殺害事件現場を見学し、ホテルで事件についての座学を行います。（長谷川順一・靖国神社平和ガイド）

【旅程】 ①成田発（午前）✈️ 南京【南京2泊】 ②南京市内見学（南京虐殺事件70年を機に展示がリニューアルされた侵華日軍南京大屠殺遇难同胞纪念馆、南京民間抗日戦争史料陳列館、南京市民と平和を願う交流会）③南京市内見学（太平天国博物館と指導者・洪秀全が住んだ瞻園。辛亥革命後、中華民国臨時政府がおかれた総統府と煦園、蒋介石夫人の宋美麗の旧宅・美麗宮）。夕方、高速鉄道で上海へ。講師・長谷川順一さん講演会【上海2泊】 ④上海市内見学（旧日本租界・魯迅公園纪念馆・旧フランス租界・孫中山故居纪念馆など） ⑤上海市内見学（ユダヤ博物館・夢の四馬路とうたわれたかつての歓楽街「福州路」など）上海 ✈️ 成田着（夕刻）

TOUR ～ハルビン・瀋陽・大連～ 中国東北部を訪ねる旅

2025年5月16日（金）～5月21日（水） 旅行代金：後日発表 募20名 催10名 添



【旅程】 ①（午前）成田発 ✈️ 大連着。大連市内見学（大連港・中山広場）【大連2泊】 ②日清・日露戦争の激戦地、旅順を見学 ③列車で瀋陽へ。瀋陽市内見学（九・一八歴史博物館、日本戦争犯罪者特別軍事裁判所旧址、清朝初期の皇宮「瀋陽故宮」など）【瀋陽1泊】 ④瀋陽から北へ40km、炭鉱の町撫順へ（平頂山惨案遺跡纪念馆・遺骨館）、夕方、列車でハルビンへ【ハルビン2泊】 ⑤ハルビン市内見学（侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館、東北烈士紀年館、安重根紀年館）、日本人残留孤児養父母連絡会の方と夕食交流会 ⑥（午前）ハルビン発 ✈️ 成田着

TOUR 東洋のパリ ハルビン冰雪祭りの旅 4日間

2025年1月12日（日）～1月15日（水） 旅行代金：後日発表 募20名 催10名 添



【旅程】 ①（午前）成田発 ✈️ ハルビン着。ハルビン市内見学（中央大街、スターリン公園、濱洲路橋散策、氷祭りの会場・兆麟公園散策（氷灯園遊会と安重根親筆を刻んだ遺墨碑見学）【ハルビン3泊】 ②ハルビン市内見学（聖ソフィヤ教会堂、旧横浜正金銀行、自由市場散策、太陽島雪祭り見学、ライトアップされた水雪大世界見学、歴史建築を観賞。旧満鉄ハルビン鉄道局長佐原憲次旧居（ロシア風建築）にてロシア料理の夕食） ③ハルビン市内見学（侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館、中華バロック歴史文化区散策、旧日本総領事館、旧大和ホテルにて夕食） ④（午前）ハルビン発 ✈️ 成田着

東京都学校生協企画 東京都教職員組合後援
子どもたちの沖縄戦Part3

戦場に駆り出された少女たち
～なごらん・白梅・瑞泉学徒の足跡を訪ねる～



2024年12月26日(木)～12月29日(日)
146,000円

募 30名 催 20名 添

Point!

- 沖縄戦に数多く動員されたなごらん学徒隊、白梅学徒隊、ずいせん学徒隊にゆかりの地をまわります。
- 今年地对艦ミサイル本部が置かれた陸自勝連分屯地や、ボーリング試掘調査が進んでいる大浦湾を望む瀬嵩を見学します。

旅程

- ①羽田✈️那覇 勝連分屯地、ホワイトビーチ、辺野古・瀬嵩【名護市泊】
- ②なごらん学徒隊（北部病院、南燈慰霊の碑、八重岳野戦病院跡）、愛楽園交流会館、若梅会ご講演・「子どもたちと沖縄戦」をテーマにした交流会【那覇市2泊】
- ③白梅学徒隊（第二高等女学校跡、八重瀬岳野戦病院、白梅の塔）、ずいせん学徒隊（魂魄の塔、ずいせんの塔、米須、ナゲーラ壕（外から）、識名壕（外から）、県立首里高等女学校跡
- ④自由行動（希望者はオプションツアーご案内）那覇✈️羽田

2024年歴史教育者協議会沖縄見学旅行
戦後80年目の沖縄戦と戦後史をたどる旅



2024年12月25日(水)～12月28日(土)
135,000円

募 30名 催 25名 添

Point!

- うるま市石川への陸上自衛隊訓練地整備計画を取り止めに追い込んだ地元住民の方からお話を伺います。
- うるま市石川の宮森小学校近くで米軍機が墜落・児童ら18人が犠牲になった事故から65年。事故当時のお話を伺います。
- 『戦争孤児たちの戦後史1 総論編』の著者・川満彰さんに戦争孤児をテーマにご講演いただきます。

旅程

- ①羽田(午前)✈️那覇、不屈館、宮森小墜落事故のお話、うるま市陸上自衛隊訓練地反対の方のお話、勝連分屯地、ホワイトビーチ【名護市内1泊】
- ②少年護郷隊の碑、ハンセン病国立療養所愛楽園交流会館、辺野古、川満彰さんご講演【那覇市内2泊】
- ③南風原陸軍病院壕、平和祈念公園、ひめゆりの塔、荒崎海岸、南北之塔、喜屋武岬、旧海軍司令部壕
- ④自由行動（希望者はオプションツアーご案内）那覇✈️羽田

石垣・与那国・宮古3島をめぐる平和交流の旅



①2024年12月25日(水)～12月28日(土)
193,000円

②2025年2月26日(水)～3月1日(土)
191,000円

募 20名 催 15名 添

Point!

- 石垣・与那国・宮古島の3島を訪れ、南西諸島で進む自衛隊配備問題を考えます。
- それぞれの島に暮らす方々と交流し、暮らしに及ぼす影響について直接お話を伺います。
- 島ならではの風景・郷土料理もお楽しみください。

旅程

- ①羽田発 ✈️ 直行便または経由便で石垣島へ、石垣島内見学（陸上自衛隊駐屯地（外観）、戦争マラリア犠牲者慰霊碑、地元の方のお話）【石垣島泊】
- ②石垣 ✈️ 与那国、与那国島内見学と地元の方との交流【与那国島泊】
- ③与那国 ✈️ 石垣島（八重山平和祈念館、憲法9条の碑）✈️ 宮古島、宮古島内見学（宮古島自衛隊駐屯地、憲法九条の碑）【宮古島泊】
- ④宮古島・伊良部島・下地島見学、下地島空港または宮古島空港発 ✈️ 直行便または経由便で羽田空港へ

市民の交流で 平和を巡る対話を

ファン・ユーシャン
黄 昱 翔

Taiwan

台湾北部の出身の私は、琉球大学で沖縄の平和教育について勉強していました。2019年春に、平和ガイドの先生について、東アジアの軍事情勢を専門とする台湾の先生を沖縄の米軍基地に案内したことがあり、通訳付きで米軍基地が沖縄に集中する歴史やそれに影響されてきた沖縄の人々の生活の話をしながらいっしょに回りました。終わる頃に、嘉手納道の駅でプレゼントとしてサーターアンダギーを買って差し上げたところ、いきなり質問を投げかけられました。

「台湾人として沖縄で生活しているなら、沖縄の人に嫌われたりしないの？」

台湾は米軍基地の抑止力によって守られているという典型的な考え方で、最近になって「台湾有事」という言葉を耳にする機会が多くなっていますが、それはいきなり出てきた話ではありません。中国の一部となつて、自由を失いたくない多くの台湾の人々は、この考え方を持っているでしょう。

しかし、台湾の人々は沖縄戦のこと、そして米軍基地による被害を深く知る機会は多くありませんでした。この先生も平和ガイドさんの話を聞いて、沖縄が受けている被害を素直に受け止めたからこそ、素朴な

この疑問が生まれたに違いありません。立場に関わらず、対面の交流ができるからこそ、軍事力のバランスという抽象的な価値判断から、住民の思いを理解する可能性が生まれたと思われれます。

今の台湾には一人一票の選挙があり、ジェンダー平等と「DSD」の権利が進んでいます。そして若者が政治に参加に熱心なように見えるかもしれない。しかしそれができなかった時代は、台湾の人々にとってそれほど遠い話ではありません。台湾はかつて日本の植民地であり、対等でない政策で支配され、戦争に参加させられました。しかし戦争が終わって統治者が変わっても、冷戦体制のなかで戒厳令が敷かれ、人々の自由が厳しく制限されていきました。「白色テロ」の時代です。政府に反対する人はイデオロギーに関わらず政治犯になり、投獄されたり処刑されたりしました。それでも命をかけて民主化を求めてきた人々がいたおかげで、自分たちの政治参加で民主主義と自由、人権を守るといって、現在の台湾社会の人々の政治意識が形成されていきます。

私は、沖縄で勉強する中で、台湾と共通点を感じました。かつて「銃剣とブルドーザー」によって米軍に生活に欠かすことのできない土地を

取られてしまつたら、米軍による事故や暴力によってさらされる不安、マイノリティだから関心が寄せられないという無意識的な差別、そしてデモが暴力的に排除される不条理。いずれも台湾では似たようなことが起きたことがあり、そして沖縄のように声を上げる人々がいました。基本的な人権が保障され、弱者を排除しない平和な暮らしを作っていくことは私たち共通の目標であり、色んな世代の居住者、活動している人々との交流のなかで、理解し合えると思っています。

ツアーで回るスポットは、いずれも歴史を知るだけでなく、現在にながて考えられる場所でもありません。アマの家では、「慰安婦」とされたおばあちゃんたちの戦後が分かれます。国家人権博物館では、人権侵害の歴史だけでなく、これからの歴史の見方として「移行期的正義」が考えられます。そして、かつて沖縄のように軍事化され、「台湾本島」とは違う戦後を歩んできた「金門島」では、軍事化された住民の暮らしを知り、「台湾対中国」という構図を別の視点から見ることができ

現地を訪れることで、平和をめぐって対話する可能性を、一緒に探っていきましょう。

TOUR

台湾 台北・金門島
ひまわり運動から10年
平和と人権を市民同士でかんがえる旅

2024年12月26日(木)～12月29日(日) 4日間
238,000円

募 20名 催 15名 添

Point!

- ひまわり運動から10年 体験者が台湾を案内、解説します。
- 若者の政治参加をめぐって活動した方々と交流
- 政治犯が収容された刑務所跡など人権侵害の記念館など、民主化の歴史を学ぶ
- 戦後「中国」との関係性について、中国廈門に近い金門島に行つて学ぶ

旅程

- ①空路 台北 台北二二八紀念館 二二八和平公園 台北泊
- ②国家人権博物館、アマの家・平和と女性博物館、鄭南榕紀念館 台北泊
- ③空路 金門島へ 終日金門島見学 空路 台北へ 台北泊
- ④順益台湾原住民博物館 空路 羽田または関西空港へ。

著者紹介・黄昱翔さん



台湾大学社会学専攻卒業、琉球大学大学院社会科教育コース修了。現在は世田谷区立平和資料館の専門員として、アジア・太平洋戦争の歴史と平和学の諸テーマを企画展や教材・ワークショップなど多様な形で企画し、平和教育の普及活動を目指している。高校生の台湾修学旅行の事前学習を手伝う日本台湾教育支援研究者ネットワーク(SNET台湾)でも活動している。

チュン・ズン (ホーチミン市在住、ジャーナリスト)

ベトナムの若者は未来の列車に希望を託す

都市鉄道1号線（ベントイン・スオイティエン間の地下鉄）プロジェクトは、ホーチミン市とベトナム南部にとって「特別の交通プロジェクト」であると同時に、若い世代を含む多くの市民が文化的で、近代的な都市、ベトナムの国土の飛躍的な発展を遂げる未来に向かって丸ごと希望を託したプロジェクトです。

ホーチミン市3区の通信関連会社の会計士、トラン・ホン・ニユンさんは、地下鉄ベントイン駅（1区）の入り口に近い「9月23日公園」に向かって足を速めていました。ベントイン駅からスオイティエン駅までの地下鉄の試運転に、お年寄りに、若い人、子供たちまで沢山集まっています。地下鉄に間もなく乗車できるの、みなわくわくと喜びの表情を隠し切れません。本日の試運転は3回おこなわれ、最初の駅から最後の駅まで約20キロ近く走ることになっています。出発地点は、ベントイン駅です。この駅と市民劇場駅、パソン駅の3つの駅が地下駅です。これら3つの駅の所在地はいずれもサイゴン（現・ホーチミン市）の歴史と文化を刻んでいます。

地下鉄に乗るために列の中で待つホン・ニユンさんは、ベントイン・スオイティエン間の地下鉄に最初に乗る1人になれてとうれいといっています。「ホーチミン市だけでなく、南部全体で最初に地下鉄に乗れるのですよ！」。ホン・ニユンさんは、この列車の最初の試運転が2022年12月21日に行われた時には、参加の申し込みが間に合わず、乗り損ねました。その時の試運転は9キロ近く地上を走っただけでした。その後も数回、試運転がありました。ホン・ニユンさんは乗車できず、今度こそはチャンスを選ばせませんでした。

ベントイン・スオイティエン間の地下鉄は、南部の完全解放と国家統一の50周年（1975年4月30日）と2025年4月30日）を祝う、ホーチミン市の主要な交通プロジェクトの一つです。この都市鉄道は総投資額43兆7570億 VND（ベトナム・ドン）、全長19.7キロ、そのうち地下区間が2.6キロ、高架区間が17.1キロで、全線には地下駅3駅、高架駅11駅の14駅と車両基地1駅があります。地下鉄の建設には、日本の請負業者やコンサルタントが重要な役割を果たしています。

ホン・ニユンさんも他の人々と同様、この地下鉄に乗るのを何十年も待っていたので、興奮の気持ちは同じです。具体的には、この路線は当初2007年3月に建設が開始され、2018年に完成・開業する予定でした。しかし、その後、このプロジェクトの完成は何度も延期されました。2021年第4四半期、2022年第4四半期、そして2023年の第4四半期へと延期され、最新の予定では2024年末の営業運行前の10月・11月に全線試験運行が行われることになっています。

今日、ホン・ニユンさんと同行しているのは、トラム・アインさんです。彼女は現在、建設と建築企画に関する専門誌の記者をしています。二人とも「新住民」、つまり他の省で生まれましたが、ホーチミン市に勉強に来て、この街にとどまり身を立ようとしているのです。ロンア省（南西部の省）出身のホン・ニユンとは異なり、トラム・アインはクアンナム省（ベトナム中部の省）ホイアン市出身。トラム・アインさんも、これまでこの地下鉄については少しばかりの情報を得ているだけで、実際に乗ってみたことがなかったため、大いに興味があります。

彼女は特にベントイン駅のベトナムの国花・蓮の花をイメージしたアトリウム（大きな建物の中庭風の開放空間のこと）がお気に入りです。同駅は地下4階、奥行き約30m、幅約45m、長さ約235mの構造となっています。ここは1号線の中心駅で、将来他の地下鉄路線と接続します。

地下鉄空間に蓮の花

ホン・ニユンさんとトラム・アインさんらのグループが安全手続きとチケットの確認を済ませ、集合場所の「蓮の花」のアトリウム・エリアに入ると、すでに大勢の人が集まっています。誰もがこの新しくモダンな駅を背景に記念写真を撮っています。特に多いのは、中年のおじさん、おばさんグループ、退職した公務員風のグループ、退役軍人グループ：などで、声を掛け合って乗車直前の手続きをしています。戦時下の青年突撃隊の服装をまとった年配の男性や、光沢を放つアオザイをまとった女性たちが談笑する光景は、ホン・ニユンさんには、とても印象的でした。彼らは自分たちの前を歩んできた世代であり、ベトナム戦争の歳月に辛酸をなめた先人たちです。今こうして友人たち、戦友たちに再会し、楽しく談笑し、幸福感に満ちたそのひと時を、歴史的な建造物の中で記録しようとしているのです。

多くの他の若者たちと同様に、ホン・ニユンさんは平和の中で生まれ、育ち、自分はいへん幸運だと思っています。父母が語るのを聞き、本やテレビを通じて知った戦争は、爆弾の雨や銃弾の嵐が降り注ぐ日々であり、人々が生死の境で不安の中で暮らしていた日々であり、明日、何が起るかは誰にもわからない日々であったことを想像させるのに十分でした。そのため、ホン・ニユンさんは、

平和の時代の退役軍人の笑顔を見て感謝の気持ちを抱き、今日のすばらしい平和な生活を送るためには、数え切れないほどの父母の世代の人々が2つの長い抵抗戦争を通じて生命、財産、血の犠牲を払わなければならなかったことをあらためて理解しました。今日の若者の責任を果たすためには、今後、いっそう発展した国を築き、前の世代の犠牲に恥じないように生きて、ホー・チ・ミン主席の遺言に従い、「よりいっそう堂々と、よりいっそう大きく、美しい」国を築くために勉強し続け、鍛え続けることが必要だと理解しました。

トラム・アインさんは平和な国で生活することができると感謝し、自分が日々成長するために努力しています。彼女はジャーナリストとして、この地下鉄プロジェクトについて独自の視点を持っており、この始まりが都市と国全体の発展の勢いを増し、他のいっそう大規模な現代なプロジェクトの起点となることを望んでいます。トラム・アインさんは、この街が30年の歴史を持つことを誇りに思っており、観光客に伝えたい歴史的な物語がたくさんあるので、遠くにいる友人たちに機会があるたびに話してきました。例えば、9月23日公園は仏植民地時代のベトナム最初の鉄道駅でした。ベントイン駅からすぐのところには、街のシンボルであるベントイン市場があり、半径約2km以内に、ニャーロン埠頭、ホーチミン博物館、戦争証跡博物館、独立宮殿、サイゴン聖マリア教会などの有名な場所があり、歩いて行くことができます。地下には将来、巨大な「地下街」ができるでしょう。レ・ロイ通りの下1700メートルの地下道で、そこにはベントイン駅と市民劇場駅という2つの豪華な駅があります。さらには、計画に従

えば、他の一連の地下鉄路線が四方八方から中心部に向かって集中することになります。そのときホーチミン市には、約50の駅と縦横の連絡線、総延長約170キロメートルという史上空前の「地下都市」が誕生することになります。地下鉄の「地下都市」は、各鉄道路線であるだけでなく、各通りを行き交い、ショッピングをし、さまざまな光景、造形物、商店を鑑賞しつつ楽しむ場所でもあります。

教師から運転士に

トラム・アインさんの打ち解けた心情の吐露は、筆者に、もう一人の特別な若者、ホーチミン市唯一の女性地下鉄運転士、ファム・ティ・トゥ・タオさん（37歳）の話の思い出させました。彼女は幼稚園教師として11年余り働いた後、小学校の教師になるための手続きを終えようとしていたときに、電車の運転士を募集する知らせを目にしました。彼女は電車を運転する仕事に強い関心があり、その仕事に執着があったので、受験票を提出しました。試験に受かって、鉄道高等専門学校に入學し、中級電車運転士クラスに選ばれました。トゥ・タオさんとクラスメイトは、基礎知識を理解するためにハノイのカットリン・ハドン線（ベトナム初の都市鉄道）のデータ模型をシミュレートする電子図形列車のブレーキ力学と列車の構造に関する理論を15カ月間学習した後、

クラスメイトとともに実技講習を行いました。彼女は日本で地下鉄電車を運転するための実践講習も受講しました。「初めて運転席に座ってハンドル

を操作したときはとても緊張しましたが、列車を操作できるようになったときはとても幸せな気持ちになりました。これで長年の願いがかないました」とトゥ・タオさんは感激して語りました。同時に、彼女が運転する電車が高架区間を走った際に目撃した光景を語りました。「一方はホーチミン市を代表する橋がかかるサイゴン川の岸辺、もう一方は高層ビル群と道路を行き交うおびただしい車両の群れ。両面の光景がぱっと眼前に現れ、躍動するホーチミン市の生活のリズムを全身で感じました」。

トゥ・タオさんによると、日本では電車は人々が毎日利用する身近な交通手段であり、将来はホーチミン市でも同様であってほしいと願っています。トゥ・タオさんはこう語りました。「楽しむだけでなく、専門的な勉強にもっと努力するよう常に自分に言い聞かせています。トレーニングの過程で、友人や多くの情報源からより多くのことを学びまな方法です」。

統一から50年近くを経て、ホーチミン市に初の地下鉄路線が開設されましたが、やがて市内全域を走る他の地下鉄路線も開設され、近隣の省や都市とも接続されます。しかし、ベントイン・スオイティエン間の都市鉄道1号線は特別な地下鉄路線です。なぜならこの路線は多くの市民の願いを丸ごと飲み込んでいるからです。これらの市民の中には1975年4月30日の統一の日の後に生まれた市民もいます。彼らは統一後に生まれましたが、民族の輝かしい

勝利に共通の誇りをもっており、そこから自分が奮闘する目標を持っています。国家の輝かしい勝利を勝ち取り、そこから努力して学習し、自分自身の目標を設定するよう努めます。彼らは、そうした自分たちの責任を自覚しています。それは民族の文化と歴史の価値を維持し、発揮することです。祖国ベトナムの飛躍的な発展が始まります。



▲多くの子どもたちを含む観光客は、ベントイン - スオイティエン地下鉄の体験乗車を楽しみました。



▲ベントイン - スオイティエン間の地下鉄に乗車しようと、ホーチミン市の多くの人々が「9月23日公園」に集合。



ベントイン駅のアトリウムで記念写真を撮る観光客。▶



▲ファム・ティ・トゥ・タオさんは、ベントイン・スオイティエン間の地下鉄を運転する唯一の女性運転士です。



▲ベトナムで最も高いビルから見たホーチミン市の中心街。川はサイゴン川

ベトナム戦争終戦から50年 元ベトナム特派員鈴木勝比古さんが同行・解説 ベトナム縦断の旅 7日間

2025年1月13日（月）～1月19日（日）

旅行代金：後日発表

定員 20名 催 10名 添

- ◆『トゥイーの日記』で有名な医者ダン・トゥイ・チャムさん最後の地であるドゥックフォーや、米兵による非武装住民虐殺事件が起きた場所・旧ソンミ村、古代サーフィン文化博物館を訪れます。
- ◆化学毒薬やダイオキシンの枯葉剤で苦しむ元兵士や子どもたちが暮らす「ハノイ国際友好村」を訪問。
- ◆「海のホーチミンルート」著者ゲン・ゴックさんにお会いします（予定）。
- ◆世界遺産の街・ホイアンを訪れたり、ベトナム初の都市鉄道やホーチミン市内を一望できるスカイデッキを体験。

【旅程】

- ①成田/関西発（午前）✈ ハノイ 鈴木勝比古さん講演会【ハノイ2泊】
- ②ハノイ市内見学（ホーチミン廟など）、都市鉄道体験乗車、ハノイ国際友好村 ③B52博物館、ハノイ✈ ダナン ④ホイアン、ホイアン旧市街、ゲン・ゴックさん【ホイアン2泊】
- ④ドゥックフォー、旧ソンミ村 ⑤ ✈ ダナン ✈ ホーチミン市、統一会堂、戦争証跡博物館、スカイデッキなど【ホーチミン市泊】
- ⑥ 元政治囚の歌と踊りのグループと交流（予定）【機中泊】
- ⑦成田/関西着（午前）

ASEAN TOUR

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会
(日本AALA) 企画 ASEANを学ぶ旅

日本AALA企画 ASEANを学ぶ旅

「戦争するな！どの国も」国際署名を提出！インドネシアツアー

2024年11月24日(日)～11月30日(土) 7日間 345,000円 燃油別途 募 30名 催 20名 添

- ◆ASEAN本部を訪問・懇談、国際署名を提出します。
- ◆日本軍「慰安婦」問題の関連地を見学します。
- ◆1955年に行われたアジア・アフリカ会議（バンドン会議）で各国の首脳が宿泊した由緒あるホテルに宿泊。博物館も見学します。
- ◆世界遺産ボロブドゥール遺跡とプランバナナ寺院の見学と竹の伝統楽器「サウン・アングルン・ウジョ」の演奏もお楽しみください。



【旅程】

①(午前) 成田発インドネシアの首都ジャカルタへ、到着後ホテルへ【ジャカルタ2泊】 ②ジャカルタ市内視察(ASEAN本部訪問・懇談・国際署名の提出。南南協力のための非同盟(NAM)センター訪問・懇談 ③ジャカルタ発 ✈ ジョグジャカルタへ。ソロ・スラカルタ見学(日本軍「慰安婦」問題の関連地を見学) ④クラトン(王宮)で伝統舞踊見学、ソノブヨド博物館、世界最大級の仏教遺跡「ボロブドゥール」、プランバナナ寺院遺跡群見学 ⑤ジョグジャカルタ発 ✈ 再びジャカルタへ。陸路、バンドンへ。バンドン市内見学(バンドン会議博物館・サウンアングルンウジョ) ⑥陸路、再びジャカルタへ。ジャカルタ市内見学、夕食後空港へ 夜、ジャカルタ発 ✈ ⑦早朝、成田帰国

2024年ASEAN議長国を訪問 ラオス 平和交流の旅

2024年12月1日(日)～12月6日(金) 6日間 325,000円 燃油別途 募 30名 催 20名 添

- ◆ラオスの首都ヴィエンチャンのASEAN事務局へ国際平和署名を提出します。
- ◆COPEビジターセンターを訪問し、不発弾問題を学びます。
- ◆ラオス平和連帯委員会またはASEANのNGO団体と交流します。
- ◆街全体が世界遺産に登録されているルアンパバーンを訪れ、歴代の王たちが建造した多くの寺院や僧侶たちによる托鉢行列を見学します。

【旅程】

①成田 ✈ ホーチミン市 ✈ ヴィエンチャン【ヴィエンチャン2泊】 ②ヴィエンチャン市内で視察訪問(ASEAN事務局、COPEセンター、NGO団体と交流) ③ヴィエンチャン市内見学(寺院、凱旋門など)、午後ルアンパバーンへ【ルアンパバーン2泊】 ④ルアンパバーン郊外見学(メコン川クルーズ、クワンシーの滝、モン族の村、バクワー洞窟) ⑤ルアンパバーン市内見学(ワットシェントーン、ワットマイ寺院、ワットピスン) 夜、ルアンパバーン発 ✈ ハノイ【機中泊】 ⑥夜中：ハノイ ✈ 早朝：成田着



Sri Lanka

伝承文化“アーユルヴェーダ”が息づくスリランカへ

スリランカはインドの東南にある島国です。北海道の約8割の国土に8つの世界遺産があります。5000年前からの伝承文化アーユルヴェーダの精神が今も息づいています。

スリランカは16世紀初めからポルトガル、オランダ、英国の順で植民地支配を受けました。1948年にセイロンとして独立し、1972年に国名を現在のスリランカに改めました。スリは「光り輝く」、ランカは「島」を表します。スリランカは世界の宝石ベルトと言われる宝石産地のラインに国全体が入っています。ダイヤモンド、エメラルド、タンザナイト以外の宝石が採れることでも有名です。光り輝く島という国名はまさにそれを表しています。

植民地時代の名残は、コロンボ市内の建物などにも残っています。また、英国植民地時代に紅茶畑を作ったことで、セイロンティーとして紅茶は世界的にも有名です。熱帯性モンスーン気候に属し、雨季と乾季があり、常に暑いですが、標高1000メートルを超える場所では1年を通して涼しいです。スリランカは75%が仏教徒のシンハラ人。15%が北部や東部に住むヒンズー教徒のタミル人、イスラム教徒、キリスト教徒と続きます。

仏陀が3回スリランカに来て、悟りを開いたと言われています。仏教徒が多いので、至る所に寺があり、お釈迦様の像が見られます。気質としては、日本人ととても良く似ています。人のためにもてなしをすることも好きな国民性です。

私は、スリランカで生まれ育ちました。1930年代に祖父が始めた宝石採掘業を父が継ぎ、3代目となります。1995年にスリランカ政府派遣でアメリカのアリゾナ宝石展示会に出展し、1997年にアメリカのNYで株式会社ノジリアメリカを設立。アメリカ宝石連盟会員の資格を取得し、2002年にはNYのメトロポリタン美術館と取引を開始し、2003年、カナダのトロントで株式会社ノジリカナダを設立しました。その後日本に拠点を移し、日本人の妻と子どもと暮らしています。会社名のノジリは、日本の野尻湖から取ったものです。日本には1995年頃、神戸の大学に研修に来ました。その際友人たちと訪れた野尻湖の美しさに感動し、会社名をノジリとしました。

日本に住み、日本を愛する私が、故郷のスリランカと日本をつなぐ仕事をしていることに深い感銘を覚えます。アーユルヴェーダは5000年前

からの伝承文化です。アーユルヴェーダは健康で幸せに長生きするための学問です(医学、科学、哲学)。日本ではオイルマッサージのことだと思われている方が多いですが、食、運動、呼吸、オイルマッサージ、物の考え方、占星術、宝石、瞑想、祈禱などが項目に含まれます。つまり、人は、バランスが取れた時に、幸せを感じ、心身共に健康に暮らせるという教えです。

祖父母はそれに基づき、宝石採掘業を始めたのでしよう。父が肺がんになり、余命宣告をされました。西洋医学の病院の診断で学術の先生にセカンドオピニオンを求め、治療を受けたところ、なんと10年も生き延びることが出来ました。山羊のミルクを胸に湿布し、草木の葉や根や茎を使った治療でした。父は亡くなりましたが、その感謝を形にしたいとずっと考えていました。願いが叶い、4年前に、コロンボにノジリアーユルヴェーダ病院を設立しました。折しもコロナになって直ぐでしたので、特効薬がない時期、多くのスリランカ人が病院を訪れました。

スリランカでは、このように、アーユルヴェーダという大きな柱が国民の人生に根付いていて、メンタルダ

ウンする人も少なく過ごしているのは素晴らしいことです。

スリランカを訪れた日本人は皆さん、居るだけでストレスフリーになると言います。多くの自然に囲まれ、オーガニックハーブを使ったカレーなどを食し、完熟したフルーツを食べ、美味しい紅茶を飲み、ゆったりした時間を過ごすことは、何よりの休息になります。

一部の情報では、スリランカは重力が低く、ストレスを感じないというとも言われています。世界遺産を見て歴史を感じるとともに、インド洋に浮かぶ島として、世界のビジネスハブとなるべく、都市部では発展が目覚ましいです。中東、アフリカ、シンガポール、香港などにも4時間のフライトで行けます。

色々な顔があるスリランカを、ぜひ体感しにいらっしやいませんか。スリランカに生まれ育ち、今もなお、3つの会社と病院を持つ私が、日本の皆様にスリランカの魅力を伝えたいと思います。

ノジリインターナショナルトレード
代表 LAD PALITHA



「光輝く島」の文化遺産と現在を訪ねる旅 8日間

2024年1月26日(日)～2月2日(日) 募 25名 催 15名 添
旅行代金：後日発表

旅程

①成田空港集合 空路 スリランカへ 陸路コロンボへ。 ②世界遺産 アヌラダプラ遺跡見学 ③シーギリヤロック見学 ミンネリア国立公園 ④タンブッラ石窟寺見学 キャンディ市内見学 ⑤ヌワラエリヤで紅茶の試飲と茶摘み体験 ⑥コロンボ市内見学 ⑦病院または学校見学 空路帰国の途へ ⑧成田空港着後 解散



脱植民地化への連帯を育む旅へ —フィリピン、サイパン・テニアン、グアム

中村みずき
通訳・翻訳家、ライター

アジア太平洋戦争の終結から80年となる2025年、「脱植民地化」をテーマにした旅に出かけませんか？

行き先はフィリピン、サイパン・テニアン、グアム。かつて日本が占領し戦争に巻き込んだ島々であると同時に、現在、私たちが加担する軍事化が進行している地域でもあります。

フィリピンへのツアーを予定している来年2月は、日米が激しい戦闘を行ったマニラ市街戦から80年の月となります。1カ月間の戦闘で10万人ものマニラ市民が犠牲となりました。また、1990年代初頭に人々のたまたかいで米軍基地を撤去したフィリピンですが、現在新たな軍事施設の設置がアメリカとの協力のもと進んでいます。

広島と長崎に原爆を投下した戦闘機が飛び立った島として知られるテニアンでも、小さな島の人々たちを変えようとする規模の軍事化が進行中です。テニアンブルーと呼ばれる美しい海は、戦争末期、沖縄や日本からの移民が身を投げた場所。サイパン同様、日本の植民地支配の跡が色濃く残ります。

そしてグアム。戦時中、日本軍による強制労働、強制収容、虐殺などが住民を苦しめたことは、残念ながらあまり知られていません。さらに現在、大規模な軍事施設の建設がグアムの環境や文化遺産の破壊を招いており、住民が抗議の声を上げ続けています。日本政府は「沖縄の基地負担軽減」を口実に、この建設費用に資金を投じています。

どのツアーでも、私たちも深く関わる過去から今に至るこうした問題を、地元の方々に直接お話を聞きながら学び考えます。

脱植民地化ツアーは、各地であきらめず活動を続ける人々と出会い、海を越えた友情と連帯を育む機会でもあります。また、アジア太平洋の軍事化にも関わる都市、アメリカ西海岸サンディエゴへの旅も構想中です。来年ぜひ一緒に結みましょう。



軍事都市サンディエゴで 広がる草の根運動

シミオン・マン
カリフォルニア大学
サンディエゴ校准教授

南カリフォルニアの太平洋沿岸に位置するサンディエゴは、穏やかな気候と自然のままのビーチで知られ、毎年3000万人以上の観光客が訪れます。しかし、輝く日差しの下で見え隠れするのは、広大な軍事化の風景。複数の米軍基地、ジェネラル・ダイナミクスやロッキード・マーチンなどの武器製造企業があり、メキシコとの国境沿いには、中米からの移民を阻止し逮捕するため先住民コミュニティの土地に建設された検問所と巨大な壁がそびえています。

サンディエゴにフィリピン人とチャモロ人の大きなコミュニティがあるのは（チャモロ人の人口はグアムの次に多い）、海軍基地の存在に由来します。その家族の多くは、20世紀初頭から現在も続く米国による祖国の植民地支配の過程で、米海軍に入隊しました。

1975年にベトナムの人々が避難してきて以来、サンディエゴは難民が再定住する中心地となっています。最近ではイラク、ソマリア、シリア、アフガニスタンでの戦争によって国を追われた人々が居住し、今では多数の難民を抱える米国都市のひとつとして知られています。東南アジアや東アフリカの難民が数世代にわたり定住しコミュニティを築いてきたシティ・ハイツ地区には、カラフルな店舗やレストランが軒を連ねています。

米国が海外で戦争を続け、世界中で軍事プレゼンスを拡大する中、サンディエゴの人々は米国の軍事主義に対する動員と抵抗の先頭に立ってきました。軍事主義はサンディエゴの政治経済や日常生活に深く関わっているため、それとたたかうことは不可欠であると同時に

困難でもありません。 「We All We Got San Diego」や「Border Angels」などの相互援助団体は、国境で亡命希望者に食料、水、衣類を提供したり、砂漠地帯を歩いて移動する彼らのために水を設置する活動を行っています。1980年代初頭に設立された「Project YANOT」は、軍に入隊する以外の選択肢を労働者階級の若者たちに提供しており、「Ankhan San Diego」はフィリピン系の若者を組織し、フィリピンでの人権侵害や米国による新たな軍事化に反対しています。

今年初め、カリフォルニア大学サンディエゴ校（USCD）の学生たちは、パレスチナ人のたたかいを支援しジェノサイド停止を求め、「ガザ連帯キャンプ」を組織しました。学生たちは、何億ドルもの助成金を国防総省から受け取っている大学に対し、戦争、軍事主義、パレスチナ人のジェノサイドから資本を引き揚げるよう要求しました。

地元として世界中で高まるパレスチナ連帯運動を足掛かりにして、6月末にはサンディエゴで数百人の人々が、多国間軍事訓練リムパックの中止を求めてデモを行いました。2年に一度ハワイで実施されるリムパックには、29カ国から25000人以上の兵士が参加しています。

USCDの歴史学の准教授である私は、サンディエゴを始めとする太平洋地域での軍事主義と、それが一般市民の生活に与える影響について教え、研究しています。こうした問題について教え執筆することは、社会正義のためのたたかいに参加することに代わるものではないが、分ちがたい努力であるというのが、私の信念です。

サンディエゴで私は、軍事主義の影響を受けている草の根コミュニティとの関係を築いたり、戦争で利益をむさぼる者たちよりも住民のニーズを優先させようと奮闘する多くの団体でボランティアとして活動してきました。また、ジェノサイドから投資を引き揚げよと

大学に求める勇敢な学生たちを強く支援しています。

ティーチ・インを開催し、他の教員と記者会見や集会を組織したほか、警察がガザ連帯キャンプを暴力的に撤去した後に懲戒問を受けた学生たちをサポートしてきました。

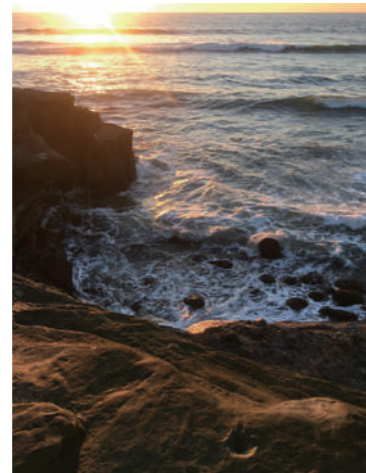
昨年と今年、私は富士国際のグアム、サイパン・テニアン、フィリピンへのツアーに参加し、一般的な観光コースにはない場所を訪れ、脱軍事化の活動に日々携わる活動家の話を聞き、多くのことを学びました。私にとって目を開かせる体験となり、サンディエゴと同様のツアーができたかと考えるようになりました。

2025年のツアー開催を目指してワクワクしています。サンディエゴで学び交流する旅に、皆さんぜひご参加ください。

（翻訳：中村みずき）

2025年予定 戦後80年企画 脱植民地化への連帯を育む旅

- 2月** フィリピン 市民運動との連帯の旅 (マニラ市街戦から80年)
- 5月** サイパン・テニアン 歴史・基地・文化をめぐる先住民との交流の旅
- 6月** グアム 歴史・基地・文化をめぐる先住民との交流の旅
- 11月** サイパン・テニアン 歴史・基地・文化をめぐる先住民との交流の旅



seminar

【日本AALA共同企画 ベネズエラ学習会】ベネズエラの魅力 音楽・文化

日時 2024年10月6日(日)14:00~16:00 人数 会場定員15名(オンライン併用)

会場：富士国際旅行社 会議室
参加費：無料
講師：石川成幸氏
(駐日ベネズエラ・ボリバル共和国
特命全権大使)

ベネズエラの音楽・文化の魅力をお話しいたします。
いま注目されている大統領選挙結果についても語っていただきます。



booklet

『マルクス、エンゲルスのゆかりの地を訪ねて』一坂本茂男著

フランス・パリのマルクス・エンゲルスゆかりの場所を紹介したブックレットです。
一冊500円(郵送料込)※限定40冊



東学農民軍犠牲者を悼む謝罪の碑 建立1周年
現地中で塚明先生を偲ぶ
第19回 東学農民軍の歴史を訪ねる旅

2024年10月25日(金)~10月30日(水)
269,000円 燃油別途

募 30名 催 15名 添

- ◆東学農民軍犠牲者を悼む謝罪の碑 建立から1周年、現地中で塚明先生を偲びます
- ◆日清戦争から130年、現場となった月峰山、白石浦、内島(アンソム)などをめぐります
- ◆日韓市民と一緒に行く旅で、現地の方々との交流もお楽しみに♪

【旅程】

①各地空港からご出発(羽田7:30集合予定)✈韓国へ、国立大韓民国臨時政府記念館見学(ソウル泊) ②午前：景福宮など見学BBB月峰山*白石浦*内島(日清戦争の戦績地)午後：公州へ 夜：市民交流会(公州泊) ③牛禁峙戦闘地、東学革命軍慰霊塔など見学BBB全州へ(全州泊) ④全州 井邑へ 東学革命軍慰霊塔、無名東学農民軍慰霊塔、全琫準古宅、黄土嶼戦闘地、東学農民革命記念館など見学 羅州へ 夜：市民交流会(中塚明先生を偲ぶ会)(羅州泊) ⑤終日：羅州市内見学 後備歩兵19大隊駐屯地(錦城館)、羅州邑城、羅州小学校、東学農民軍犠牲者を悼む謝罪の碑など(羅州泊) ⑥午前：KTXでソウルへ午後：出発時間にあわせ空港へ✈羽田空港到着後、解散(羽田18:30着予定)

限られた人生、何でも見てやろう

コロナ禍で家に閉じこもるのが習慣となり、羊のようにおとなしい日本人はますます委縮して政治も経済も悪化するばかり。無気力、無関心が蔓延する社会を変えるのは個人の行動力です。まずはあなた自らが飛翔して、日本社会に元気を吹き込みませんか？

昨年、コスタリカ・ツアーを募集したところ、円安で割高にもかかわらず24人の方が参加されました。不思議に思ってたけど①コロナの間に旅費が3年分貯まった②コロナで死ぬ前にいきたい所に行こうと思った、という答が返ってきました。みなさん積極的な生き方をしています。こういう方はつらつと元気で長生きしています。

あまりに楽しかったのか、「来年も絶対、コスタリカに行く」という77歳の女性もいます。そう、来年もコスタリカ・ツアー、やります。小学生も遠慮訴訟する憲法裁判所や男女平等を実現した国会への訪問はもちろん、世界に誇る自然環境を体感し、名高いコーヒーの生産現場を存分に味わっていただきます。

僕はこの秋にミネルヴァ書房から6000人のユダヤ人の命を救った外交官、杉原千畝の評伝を出版します。彼がユダヤ難民にビザを出したリトアニアの旧日本領事館を訪ねる旅を5月に計画しています。隣国ポーランドも訪ね、ユダヤ人が大量虐殺されたアウシュビッツや、現代のウクライナ難民の生活にも触れたいと思います。

旅の達人、かつてジプシーと呼ばれたロマ民族は「一か所に留まれば精神が腐る」と言います。なぜ流浪の人生を送るのかと問われた答がこれでした。じっとしているのは後退することなのです。限られた人生です。何でも見てやろう、まずは興味のある場所に足を運びませんか。悔いのない生き方をしたいものです。

(伊藤千尋・ジャーナリスト)



『コスタリカ「純粋な人生」と言いつつ平和・環境・人権の先進国』
伊藤千尋著/2023年/高文研

一つの国として平和のモデルを示したコスタリカ。本書は、中米の「小国」の選挙システムや憲法廷、教育・医療制度、環境保護活動などを紹介しながら、自由と民主主義、人権「大国」で育まれる人びとの意識を探る。そして、平和を少しずつ目に見える形にしているコスタリカにならぬ、日本の憲法9条をただ持っているだけでなく、9条を活かして世界に平和を広める努力を提言する。コスタリカを知れば希望が湧いてくる！
1,980円(1,800円+税)



2025年・伊藤千尋さんで行く旅シリーズ

1 平和・人権・環境・教育・男女平等大国を実現した国
コスタリカから学ぶ旅
2025年2月21日(金)~3月2日(日) 10日間

- *議員の男女平等を実現した国会を訪問し、取り組みを聞きます
- *平和・民主主義教育を行う学校を訪問し、実践の場を見学します
- *多種多様な動植物の宝庫！エコツアー散策を楽しみます

2 5月 リトアニア・ポーランド 日時・詳細は後日発表

- *「命のビザ」を発給し多くのユダヤ人を救った杉原千畝の記念館を見学
- *アウシュビッツを訪れ、ホロコーストの負の歴史を学びます
- *ウクライナから避難している方のお話を聞き、現在の問題を学びます

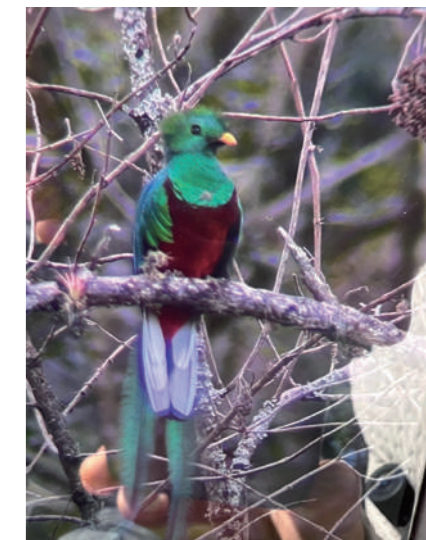
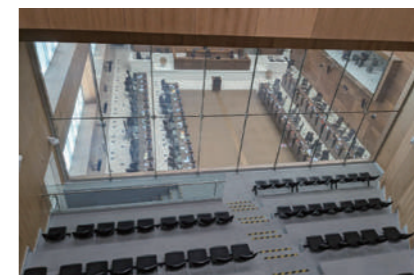


seminar

【ドキュメンタリー映像で知る】
ソマリアにおける対話を通じた
テロ・紛争解決の現場

日時 2024年12月14日(土)
14:00~16:00 人数 10名~

【主催アクセプト・インターナショナル様よりお誘い】
連日報道される世界各地の紛争や難民の問題に対して、自分に何かできないかと思いませんか？
アクセプト・インターナショナルは、紛争の当事者になった若者たちが武器を置き、平和の担い手として生きる道を創ることが平和を実現する上で不可欠だと考え、2011年よりソマリアなどの紛争地で活動してきました。
そこで、実際に私たちが活動する現場のリアルをより具体的に感じ取っていただくために、ドキュメンタリー映像を用いたイベントを企画しました。本イベントでは、当法人代表・永井と約2年半、ソマリアで行動を共にした齋藤悠太氏が監督・撮影したドキュメンタリー作品『その日本人はなぜ彼らと対話するのか』の短編版を、ご参加の皆様と視聴します。映像を通して問題を知り、皆様が平和について考えるきっかけとしていただけたら幸いです。



「子どもの権利条約」とコルチャック先生

東京都教職員組合 元委員長 工藤芳弘



「子どもの権利条約」とコルチャックの実践
「子どもの権利条約をつくらう」と最初に呼びかけたのはポーランドです。二度の世界大戦で、ポーランドは200万人の子どもたちが犠牲となりました。

ユダヤ系ポーランド人のヤヌシユ・コルチャック(本名ヘンリック・ゴルドシュミット)は、子どもたちのために生涯捧げた医師、作家、教育者です。また、「子どもの権利条約の父」とも呼ばれています。

子どもたちと収容所に消えたコルチャック
第二次世界大戦中、コルチャックは孤児院の子どもたち約200人と一緒にトレブリンカ強制収容所に送られました。そこで非業の死を遂げたのです。コルチャックは、「子どもは生まれたときからおとなと同じ一人の人間であり、その権利が尊重されなければならない」という考えを生涯貫きました。その思いを世界に発信したのがポーランドです。それが国連総会で採択された「子どもの権利条約」に受け継がれたのです。

今年2月29日から3月29日まで、「子どもの権利の先駆者『コルチャック先生』を知っていますか?」と銘打って、「企画展『子どもの権利のためにーコルチャック先生と子どもたち』」が東京都人権プラザで開催され、好評のため7月31日まで会期が延長されました。「子どもの最善の利益を最優先する」というコルチャックの思いを、再認識させられる企画展でした。

ポーランドに残されたコルチャックの足跡
ポーランドは、コルチャックの足跡を今に残しています。孤児院「ドム・シユロト」、コルチャック記念館、ユダヤ人墓地(記念碑)、ワルシャワゲットー跡地(ゲットー記念碑)、ユダヤ博物館、トレブリンカ絶滅収容所などです。孤児院が最後にあった場所(ゲットー)には、コルチャックと子どもたちの像、記念碑があります。そこには「医師であり、作家であり、子どもをいかに愛し、理解し、尊重すべきかを教えた教育者」と刻まれています。

「子どもの権利条約」批准30年の節目に、「コルチャック先生の足跡を訪ねる旅」を企画したいと考えています。

今もなお、戦火の中で命を奪われている子どもたちが跡を絶ちません。子どもの人権とは何かを、改めて考える必要があります。

事前学習会 ※日時は後日発表

- 1 コルチャック先生と「子どもの権利条約」
- 2 アウシュビッツでのアンネ・フランク



東京都学校生活協同組合企画 「子どもの権利条約」批准30年! 工藤芳弘さんご案内 コルチャック先生の足跡を訪ねるポーランドの旅

2025年3月22日(土)~3月30日(日) 9日間
旅行代金: 後日発表

①夜: 羽田または成田発、経由地にて乗り換え<機中泊> ②午前または午後ワルシャワ着。ワルシャワ市内見学<ワルシャワ3泊> ③終日: ワルシャワ市内のコルチャック先生の足跡をたどる(*生家 *通った小学校 *ワルシャワ大学医学部 *孤児院跡 *ユダヤ人墓地 *ワルシャワ蜂起博物館 *ポーランドユダヤ人歴史博物館 *ゲットー跡 *駅の跡 など) ④コルチャック先生と子どもたちが送られ殺されたトレブリンカ強制収容所へ日帰り見学 ⑤列車でクラクフへ。クラクフ市内見学<クラクフ2泊> ⑥終日: アウシュビッツ・ビルケナウ博物館見学 ⑦午前: クラクフ市内見学(シンドラー博物館など) ⑧午前: 空港へ、ワルシャワ発、空路経由地へ<機中泊> ⑨経由地にて乗り換え、空路、帰国の途へ。夕刻成田空港着。

EUROPE TOUR

旅ステーション企画 ヨーロッパ鉄道の旅



ヨーロッパ鉄道の旅シリーズ Vol.1 イギリス社会主義運動の歴史と源泉

産業革命の中心地であったイギリスのマンチェスター。科学と近代工業のビッグバンとともに、資本家と労働者の闘いも始まりました。先駆者たちの社会主義運動を学びながら、私たちの運動の未来を考えます。

2024年10月22日(火)~29日(火) 8日間
旅行代金:820,000円 ※燃油等別途

募 15名 催 10名 添

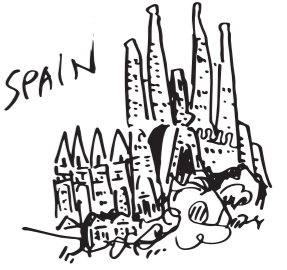
- ◇ユネスコの世界文化遺産に指定されているロバートオーエンのニューナークの工場。
- ◇労働組合や生協の歴史が学べるマンチェスターとロッジデル。
- ◇平和博物館のあるブラッドフォード。奴隷博物館のあるリバプール。ロンドンのマルクス・エンゲルスゆかりの地。

【旅程】①午後: 成田または羽田発 中東経由でロンドンへ<機中泊> ②午前: ロンドン着 スコットランドへイギリス縦断鉄道の旅 <ニューナーク泊> ③ニューナーク ロバートオーエンの工場を見学 午後: マンチェスターへ鉄道の旅 <マンチェスター泊> ④午前: 国立人民の歴史博物館 午後: ロッジデル先駆者博物館、ブラッドフォード平和博物館 <マンチェスター泊> ⑤午前: マージサイド海事博物館(奴隷博物館) 午後: リバプールからロンドンへ鉄道の旅 <ロンドン泊> ⑥午前: マルクスのロンドンの家、大英博物館 午後: 大英図書館、エンゲルスのロンドンの家、ハイゲート墓地のマルクス墓 <ロンドン泊> ⑦午前: ロンドン発 中東経由で東京へ ⑧午前: 成田または羽田着



ヨーロッパ鉄道の旅シリーズ Vol.2 スペインゲルニカ 平和と美術の旅

スペイン内戦時、無差別爆撃が行われたゲルニカの町。その怒りを絵筆に託して、世界にスペインの人々の自由と平和を訴えたピカソの「ゲルニカ」。スペインに民主主義が取り戻された1981年に「ゲルニカ」は、アメリカのニューヨーク近代美術館からスペインに返却されました。しかし、内戦後のファシストによる弾圧の犠牲者が、名誉を回復し、その補償が始まったのは今世紀になってからです。「ゲルニカ」の物語にふれ、平和と民主主義を巡るスペインの人々の闘いの歴史を学び、世界に誇る、美術や建築を見学し、スペインの魅力を満喫します。



2024年11月19日(火)~26日(火) 8日間
旅行代金:788,000円 ※燃油等別途

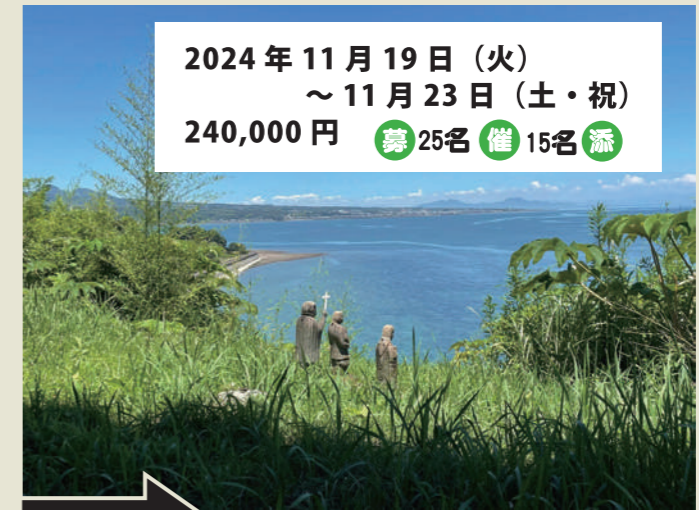
募 15名 催 10名 添

- ◇バルセロナのカタルーニャ歴史博物館でスペイン内戦の歴史を学び、無差別爆撃で壊滅的打撃を受けたゲルニカの町のゲルニカ平和博物館を訪問します。
- ◇ピカソの「ゲルニカ」があるマドリッドのソフィア王妃芸術センターのみならずブラド美術館、ビルバオのグッケンハイム美術館、バルセロナのピカソ美術館など世界的に有名な4つの美術館、ガウディーのサグラダファミリアやトレドの町などスペインが誇る世界遺産も見学します。



#01

鹿児島・水俣・天草・長崎をめぐる
大人の学習体験旅行 in 九州



2024年11月19日(火)
～11月23日(土・祝)
240,000円 募25名 催15名 添

Point!

- 映画『ちやわんやのはなし』に登場する鹿児島県日置市東市来町美山の沈壽官窯や同じく朝鮮王国から連行された焼き物師の末裔・東郷茂徳の記念館などを訪れます。
- 水俣を1日かけてじっくりフィールドワーク。患者さんの講話も。
- 天草下島では世界遺産となった天主堂、天草キリシタン館を訪問。原城フィールドワークも。
- 長崎の原爆遺構見学、軍艦島クルーズも!

旅程

- ①羽田空港集合(7時頃) ✈️ 鹿児島空港 山田(始良市)凱旋門、壽官陶苑、元外相東郷茂徳記念館、いちき串木野市朝鮮人陶工上陸之地碑、九州電力川内原子力発電所【川内市内泊】
- ②水俣フィールドワーク(相思社、歴史考証館、患者さん講話、水俣湾親水公園(埋立地)、百間排水口、JR水俣駅、茂道地区、湯の児半島大崎鼻公園(不知火海、八幡残渣プール)【水俣市内泊】
- ③蔵之元港 🚢 牛深港、崎津、大江、天草ロザリオ館、天草キリシタン館、下田温泉【下田温泉泊】
- ④鬼池港 🚢 口之津港 口之津歴史民俗資料館・同分館、原城フィールドワーク(有馬キリシタン遺産記念館、原城址史跡めぐり)、山川剛さん講演会【長崎市内泊】
- ⑤車窓から如己堂・浦上天主堂、平和公園(平和祈念像、原子爆弾落下中心の碑、被爆当時の地層、朝鮮人犠牲者追悼碑)、原爆資料館、端島(軍艦島)クルーズ、長崎人権平和資料館、長崎駅→長崎空港 ✈️ 羽田空港

#04

JR只見線全線再開から2年
秋の越後を訪ねる旅



2024年11月28日(木)～11月30日(土)
85,000円 募15名 催8名 添

Point!

- 2011年の新潟・福島豪雨により甚大な影響を受け、一部区間が不通となっていた只見線が11年ぶりに再開して2年。只見線に乗車します。
- 新潟水俣病や柏崎刈羽原発再稼働問題、長岡空襲について学びます。
- 小説「峠」に登場した河井継之助記念館、田中角栄記念館の見学も!

旅程

- ①JR浦佐駅集合(12時頃) JR上越線で→小出駅 JR只見線で只見駅へ「只見町河井継之助記念館」「河井継之助の墓」見学【只見町内泊】
- ②専用車で新潟市内へ
午前:「新潟県立環境と人間のふれあい館-新潟水俣病資料館-」見学
午後:地元の方から新潟水俣病についてのお話と関連地フィールドワーク→長岡市寺泊へ 夕方:地元の方からのお話【寺泊泊】
- ③寺泊魚の市場通りにてお買い物
午前:出雲崎町「妻入りの街並み」「良寛と夕日の丘公園」→柏崎市へ宮川地区から「柏崎刈羽原発」を見学(外観)→西山地区の「田中角栄記念館」見学→午後:「長岡戦災資料館」見学→長岡駅到着・解散(16時頃)

旅程

- ①羽田 ✈️ 奄美大島
【奄美の生活・文化を学ぶ】
奄美パーク、田中一村記念美術館、りゅうがく館
- ②【奄美の戦争の歴史を学ぶ】
古仁屋周辺の戦跡巡り、フェリーで加計呂麻島へ 安脚場戦跡公園見学、男はつらいよ撮影地など
- ③【現在の問題を学ぶ】
陸上自衛隊基地周辺を見学、自衛隊配備問題について地元の方からのお話、黒糖焼酎製造工場見学、大島紬の工房見学
- ④【奄美の自然文化を学ぶ】
黒潮の森マングローブパーク、世界遺産センター
奄美大島 ✈️ 羽田



①2025年1月28日(火)～1月31日(金)
②2025年2月18日(火)～2月21日(金)
189,000円 募10名 催20名 添

Point!

- 奄美の戦跡巡り、現在の自衛隊配備問題について学びます。
- 本土と沖縄の影響を受けながらも独自の文化を築いた奄美文化を学びます。
- 奄美の郷土料理や黒糖焼酎を楽しみ、スローライフを味わいます。

奄美大島
歴史・文化・交流の旅



#03

山梨県の「現場」を訪ねる
リニア中央新幹線問題を考える旅



Point!

2025年1月25日(土)
～1月26日(日)
58,000円 募20名 催10名 添

- 山梨県立リニア見学センターや実際に工事が進む現場を見学
- 日蓮宗の総本山、身延山久遠寺を見学
- 天気の良い日にはダイヤモンド富士もお楽しみいただけます

<旅程>

- ①品川駅集合(8時頃) 山梨県立リニア見学センター 早川町(山梨駅予定地、新倉の断層、トンネル掘削現場など) 下部温泉【下部温泉泊】
- ②下部温泉発 身延山久遠寺 富士河口湖町 新宿駅着、解散(18時頃)

#02

自主防災を考える
熊本震災から学ぶ旅



Point!

2024年11月17日(日)
～11月20日(水)
175,000円 募15名 催10名 添

- 草の根目線の防災アドバイザー同行
- 熊本地震、豪雨災害地をめぐり、自主防災を考えます
- 天守閣が完全復旧した熊本城を見学
- 温泉とお食事もお楽しみください!

<旅程>

- ①羽田発 熊本 熊本地震震災遺構めぐり、防災アドバイザー講演会【阿蘇温泉泊】
- ②旧東海大学阿蘇キャンパス震災ミュージアム見学、益城町へ、益城町震災遺構めぐり、熊本市へ【熊本市内泊】
- ③熊本県防災センター、熊本城見学、人吉温泉へ【人吉温泉泊】
- ④人吉球磨地域豪雨災害被災地めぐり、球磨川くだり 熊本✈️羽田

各ツアーの詳細パンフレットをご用意しております。ご興味ある方は旅行社へご連絡ください!

2024年歴教協アジアの旅
日清・日露戦争130年・120年
日本の植民地支配を韓国で考える 4日間

2024年10月12日(土)～10月15日(火)
旅行代金：185,000円 募 30名 催 15名

日本の朝鮮侵略の起点・江華島事件跡地、閔妃暗殺の現場である景福宮、日本の植民地支配がテーマの植民地歴史博物館などを見学します。現地の方々との交流会も計画中！歴教協企画ならではの旅、ぜひご参加ください。

- 【旅程】①成田空港発、ソウル着、景福宮見学【ソウル3泊】
②午前：南山フィールドワーク 午後：植民地歴史博物館見学
③終日：江華島見学
④出発まで自由行動 午後：ソウル発、成田空港着



OSUSUME 01
出会う つながりともにつくる東アジアの世界 2024 歴史地理教育7月増刊号
1,100円
お求め先 歴史教育者協議会
TEL: 03-3947-5701
FAX: 03-3947-5790

ベトナム戦争終結50年企画 中村梧郎さんと行くベトナムシリーズ

01 ホーチミンシティマラソン参加ツアー

2025年1月10日(金)～1月14日(火)
239,000円 燃途別途 募 20名 催 8名 添

- *走りた人必見! 選べるマラソンコース (42km, 21km, 10km, 5km)
*枯葉剤被害者・障がい者支援団体と交流します。ツアー参加費の一部がチャリティ寄付になります。
*たっぷり自由行動。ご希望に沿ってご案内します。

02 ランソンの現場を訪ねるベトナム北部の旅

2025年3月5日(水)～3月11日(火)

- 【旅程】
①成田発→ハノイ着、ハノイ市内見学<ハノイ泊>
②午前ハノイ市内見学、午後ランソンへ。<ランソン泊>
③高野功さん 慰霊のつどい・現地の方と交流<ランソン泊>
④午前：陸路、北部最大の港湾都市ハイフォンへ。午後：ハイフォン見学(中村先生が当時取材した現場をたどる)<ハイフォン泊>
⑤午前ハイフォン見学続き、午後再びハノイへ
⑥ハノイにて自由行動、夜ハノイ空港へ
⑦夜中ハノイ空港発、早朝、成田帰国

OSUSUME 02

『記者狙撃—ベトナム戦争とウクライナ』
中村 梧郎著/2023年/花伝社



かつて、ベトナムの戦場で殺された日本人特派員がいた……
盟友の死から戦場フォトグラファーが見つめ続けた、「侵略の構図」。
1979年、戦後の疲弊したベトナムに中国が侵略した「中越戦争」。この戦争を糾弾し続けた『赤旗』特派員・高野功は、35歳で銃弾に散った。
現場に居た日本人報道写真家が向き合い続けた、侵略戦争の本質とは？
ベトナム戦争とウクライナ侵攻に共通する「帝国主義的侵略」に、現場の視点から迫る！ 1,870円(本体1,700円)

OSUSUME 03

再販決定！
『海のホーチミンルート』
グエン・ゴック著/鈴木勝比古訳



ベトナム戦争終結までほぼ完全に秘匿されていた壮大な輸送作戦……。この作品は、南シナ海の風波を乗り越えて北から南の戦場へ命がけで武器弾薬を運んだ一五海軍旅団の戦士たちと、それを支えた家族や民衆の物語である。(訳者あとがきより)
ベトナムの著名な作家・ジャーナリスト、グエン=ゴック氏の大作を元ベトナム特派員の鈴木勝比古さんが翻訳。
定価1,800円+税

「慰霊の日」ツアーを終えて

もとやま じんしろう
元山 仁士郎

心配していた梅雨が直前に明け、「沖縄シーズン」が到来するなかで学習ツアーを行うことができず。今回のツアーでは辺野古や安和、沖縄平和祈念公園や佐喜真美術館、宮森小学校、浦添のていだ結の浜など、3日間で13カ所も回り、とてもハードなスケジュールだったかと思えます。アンケートにも、「暑い日差しのなか、体力的にきつかった」との感想がいくつみられました。参加者のみなさん、本当にお疲れさまでした。また、現地では太田正一社長にもご同行いただき、大変心強かったです。本稿では、ツアーの企画段階での意図や実際に実施してみた感想を、参加者のアンケートに寄せられた感想・ご意見を紹介しながら書きます。

本ツアーの構想は、昨年末、ツアーに同行したアクティビストのeeriさんの提案で生まれました。沖縄県民投票直後の2019年4月に、沖縄で講演を頼まれたことがあった富士国際旅行社に連絡をして、ツアー実施の快諾をいただきました。企画段階では、せつかく6月23日の「沖縄慰霊の日」ツアーということで式典への参列を軸にしつつ、沖縄県民投票のテーマであった辺野古基地や、eeriさんが、抗議行動(牛歩)に参加していた安和や、浦添軍港の基地建設計画予定地に行こう、と話合っていました。

その上で、行程表を見ながら、1978年から沖縄ツアーを重ねてきた富士国際旅行社側で、近隣の場所を訪問地に入れるということになっていきました。そのなかでは、戦争や基地問題だけではなく、食や沖縄の文化的なところにも触れてもらおうという意図から、紅型工房や空手会館も盛り込みました。ところが、紅型工房では、沖縄戦で作品や型紙などを消失、空手会館では空手と戦前の軍事訓練との関連性が記された説明板があり、どれも「慰霊の日」ないし戦争に通ずる訪問地だったことを感じました。

糸満の沖縄平和祈念堂で行われた「沖縄全戦没者追悼式」は、道路混雑や訪問地の都合から岸田文雄首相の挨拶直前で移動することとなってしまいました。「最後まで参加できず、残念だった」という声もあり、次回に生かしたいと思います。

その他、多くの場所を訪れ、現地・車中で私が知っていることをお話しさせていただきました。正直、車窓からみえるそれぞれの場所に参加者の皆さんに説明するために、常にアンテナを張っていないといけないという気疲れや、参加者より近くで、時間的に長く接するということもあり、

り、これまで重ねてきた講演やトークイベントのようなものとは異なる緊張感を正直感じていました。ただ、自分自身も正確な知識・情報を伝えるために調べたことなど、改めて勉強になったことも多くありました。eeriさんには「今ある危機を教えてください」と、今後どうしたらよいかを知ることができた」という感想や、「元山さんから直接沖縄の現状を伺うことができよかったです」という感想もいただき、大変有意義なツアーになりました。

最後に、このツアー終了後、沖縄では立て続けに悲惨な事件が起きています。6月25日には、嘉手納基地所属のアメリカ空軍の兵士が少女に性的暴行を加えたとして起訴されていたことが明らかになりました。さらには、この情報を外務省が沖縄県側に隠蔽していたとして、問題視されています。また、6月28日には、基地建設のための土砂の搬出が行われる安和で、牛歩に参加していた抗議者がトラックに轢かれて重症、制止しようとした警備員が亡くなるという事件が起きました。沖縄の人々の民意に反する状況で強行される辺野古新基地建設工事はもちろん、遅れる工期の中で無理に進められる工事作業のあり方も批判されています。

著者紹介・元山仁士郎さん



宜野湾市生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。現在、一橋大学大学院法学研究科博士課程。SASPL(特定秘密保護法に反対する学生有志の会)、SEALDs、SEALDs RYUKYUの立ち上げ/中心メンバー。
2018年4月から大学院を休学し、「辺野古」県民投票を実現する「辺野古」県民投票の会の代表を務めた。2019年1月には県民投票への不参加を表明した5つの市の市長に対してハンガーストライキを行い、全県実施を実現するために尽力した。



濟州4・3の歴史を訪ねる旅 4日間

2025年4月1日（火）～4月4日（金）
旅行代金：後日発表 募 20名 催 10名 添



- ◆濟州4・3追悼式典に参加
- ◆4・3平和記念館や記念公園をじっくり見学
- ◆済州市内の4・3関連地をめぐる
- ◆濟州島ならではの自然と食もお楽しみに！

【旅程】

- ①関空空港発、濟州島へ、アルトゥル飛行場見学【濟州島3泊】
- ②4・3平和記念館見学、前夜祭参加
- ③午前：追悼式典参加 午後：4・3関連地見学
- ④濟州島自然ウォーキング 午後：空路、関空空港着

民主化運動の歴史を訪ねる
光州・羅州・木浦の旅 5日間

2025年5月16日（金）～5月20日（火）
旅行代金：後日発表 募 20名 催 15名 添



- ◆光州民主化運動記念式典に出席、運動の現場を訪ねます
- ◆東学農民革命ゆかりの地、羅州を訪問
- ◆金大中元大統領の生誕100年に故郷の木浦でノーベル平和賞記念館や日本植民地時代の街並みを見学

【旅程】

- ①羽田空港発、ソウル着 KTXで光州へ【光州2泊】
- ②光州事件関連地見学（望月洞墓地、旧全羅南道庁と噴水広場、錦南路全南大学、5.18自由公園）◎運動体験者の方と交流
- ③国立5.18民主墓地で行われる記念式典に参加
午後：羅州へ（東学農民運動ゆかりの地、東学農民軍犠牲者を悼む謝罪の碑、羅州宮三面抗日農民運動記念碑見学）【羅州泊】
- ④陸路、木浦へ（木浦近代歴史館、金大中の受賞を記念して建てられたノーベル平和賞記念館、木浦共生園見学）【木浦泊】
- ⑤朝、KTXでソウルへ 着後、空路へ 午後：ソウル発、羽田空港着

馬毛島の軍事施設化問題を考える
種子島屋久島平和交流の旅 4日間

①2025年3月16日（日）～3月19日（水）
②2025年4月13日（日）～4月16日（水）
168,000円 募 20名 催 10名 添



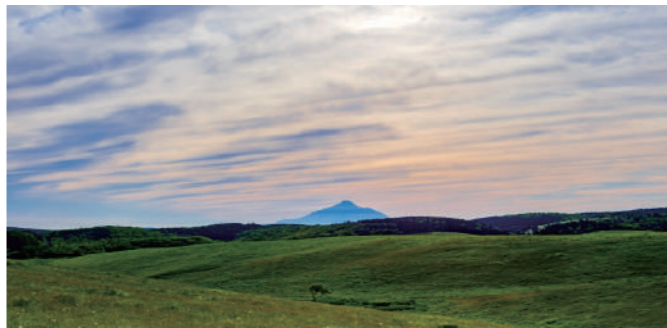
- ◇軍事施設化が進む馬毛島の問題について、地元の方々にお話を伺います
- ◇鉄砲館、宇宙センターなど、観光名所もじっくり見学
- ◇屋久島でのハイキングもお楽しみに！

【旅程】

- ①羽田 鹿児島 種子島 地元の漁師の方々と懇談【種子島2泊】
- ②鉄砲館見学、陸から馬毛島見学、中種子町戦跡見学
- ③種子島宇宙センター見学、午後 種子島 屋久島 屋久島自然館見学、ヤクスギランド散策【屋久島1泊】
- ④馬毛島の軍事施設化による屋久島への影響を考える地元の方のお話 屋久島 鹿児島 羽田

乗って応援 宗谷本線 北海道鉄道の旅
札幌・豊富・旭川 4日間

2025年4月14日（月）～4月17日（木）
159,000円 募 20名 催 10名 添



- ◇北海道の最北鉄路、宗谷本線に乗って地元を応援！
- ◇日本最北の温泉郷豊富温泉にゆっくり2連泊
- ◇ほろのべ深地層研究センターを訪れ、核のゴミ処理問題について考えます

【旅程】

- ①羽田 新千歳、札幌市（北海道大学にて「宮澤レーン事件」について学習会）【札幌市内1泊】
- ②宗谷本線で札幌駅から豊富駅まで列車の旅。ローカル線宗谷本線を守る運動についてお話を聞きます。【豊富温泉2泊】
- ③幌延深地層研究センター、サロベツ原野、稚内駅周辺見学
- ④宗谷本線で豊富駅から旭川駅へ列車の旅。旭川市（三浦綾子文学記念館、旭川自衛隊駐屯地）見学、旭川 羽田

鶴橋とウトロを訪ねる
歴史と文化の旅 2日間

2024年11月30日（土）～12月1日（日）
48,000円 募 20名 催 10名 添



- ◇大阪市生野区に昨年4月にオープンした、大阪コリアタウン歴史資料館を訪れます。
- ◇鶴橋に宿泊、かつて「猪飼野」と呼ばれた地域をフィールドワーク
- ◇2日目は京都・宇治のウトロ平和記念館を訪問、ウトロの歴史を学びます。

【旅程】

- ①鶴橋駅集合、大阪コリアタウン歴史資料館見学、生野区・猪飼野地区フィールドワーク【鶴橋1泊】
- ②ホテル発、京都・宇治へ、ウトロ平和記念館見学
ウトロ地区フィールドワーク、京都駅解散

東日本大震災「3・11」後の現場を
見に行く福島の旅 3日間

2025年3月26日（水）～3月28日（金）
99,000円 募 25名 催 10名 添



- ◇企画者の田園調布学園社会科前教諭、川口重雄さんに全行程ご同行頂き 各地の震災当時の状況や現在に関する情報をご案内いただきます。
- ◇東日本大震災から13年が経過した福島を訪れ、地元の方から震災地域の現状や復興状況をお聞きます。
- ◇地元のお魚や郷土料理をお楽しみください

【旅程】

- ①午前：いわき駅集合、伝言館（宝鏡寺・早川千枝子さんのお話）東日本大震災・原子力災害伝承館、請戸小学校など見学【浪江町泊】
- ②おれたちの伝承館、飯館村（風と土の家、ふくしま再生の会事務所、図函倉庫など）【福島市泊】
- ③地産地消の営農型発電見学、葉ノ木平震災復興記念公園（地すべり被災地跡）、午後：新白河駅到着、解散

プラハの春音楽祭とウィーン 9日間

2025年5月9日（金）～17日（土）

*詳細は後日発表

- ◇ベルリン・フィル演奏、スメタナの傑作「わが祖国」コンサートを鑑賞します
- ◇当社ならではの！テレジン強制収容所でチェコの歴史を学びます
- ◇芸術・音楽の都ウィーンと世界で最も美しいと言われる世界遺産の町チェスキー・クルムロフに滞在！



東京戦跡
フィールド
ワーク

東京大空襲80年 工藤芳弘先生案内
3月10日東京大空襲フィールドワーク
2025年3月10日（月） *詳細は後日発表

